令和3年6月期 定例教育委員会議・会議録

- ・開催日時 令和3年6月25日(金)
午前10時35分から午前11時35分まで
- ・開催場所 羽曳野市役所 別館 3階 特別会議室
- ・出席者 教育長 村田明彦
教育長職務代理者 奥野貞一
委員 多田謙司
委員 新熊和彦
委員 古山美穂
- ・説明者 教育次長 森井克則
学校教育室長 東浩朗
生涯学習室長兼
世界遺産・文化財総合管理室長 淋信行
学校教育室理事兼
食育・給食課長兼
学校給食センター所長 金森淳
学校教育課長 小林弘典
社会教育課長 寺元正治
文化財課長 吉澤則男
青少年児童センター館長 京谷雅敏
スポーツ振興課長 梁川泰延
- ・事務局 教育総務課長 木村弘子
教育総務課主幹 芝池淳子
- ・議事日程
 - 日程第1 会議録署名委員の指名について
 - 日程第2 教育長月次報告
 - 日程第3 議案第8号
羽曳野市立生活文化情報センター条例施行規則の一部を
改正する規則の制定について

- 日程第4 議案第9号
羽曳野市立青少年児童センター運営委員会委員の選任
について
- 日程第5 議案第10号
令和4年度使用中学校教科用図書（歴史的分野）の採択
について
- 日程第6 議案第11号
後援名義の使用許可について
- 日程第7 議案第12号
羽曳野市教育委員会事務局の指導主事等の給料に関する
規則の制定について
- 日程第8 報告第4号
史跡古市古墳群の追加指定について
- 日程第9 報告第5号
令和3年度羽曳野市一般会計補正予算（第5号）
（教育委員会関係）（案）について
- 日程第10 その他
・市民プール整備工事（市立中央スポーツ公園内）について
・日程調整など

開会：午前 10 時 35 分

[教育長 開会の挨拶]

日程第 1 会議録署名委員の指名について

教育長において、多田委員を指名しました。

日程第 2 教育長月次報告

教育長から次のとおり口頭にて報告がありました。

- (1) 5月 18 日から 31 日にかけて、小、中学校、義務教育学校の学校訪問を行いました。
- (2) 5月 18 日に、(有)はびきのエル・エスの総会が行われました。
- (3) 6月 2 日に、校長会、園長会を行いました。
- (4) 6月 4 日に、教頭会を行いました。
- (5) 6月 18 日に、羽曳野市新型コロナウイルス感染症対策本部会議が行われました。
- (6) 6月 23 日より、幼稚園訪問を行っております。
- (7) 6月 23 日に、貝塚市教育委員会が、はびきの埴生学園の施設見学のため来庁されました。

日程第 3 議案第 8 号

羽曳野市立生活文化情報センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

- 社会教育課長より、資料に基づき、羽曳野市立生活文化情報センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について説明があり、承認を求めました。

《社会教育課長》

今回の規則改正につきましては、機構改革により、令和 3 年 4 月 1 日から、文化振興事業の一本化という観点で、羽曳野市立生活文化情報センター、いわゆる LIC はびきのが市長部局から教育委員会に移管され、社会教育課の所管となりました。令和 2 年度まで所管していたデジタル推進課が令和 2 年度に施設予約システムに関して業者の入れ替えをし、システム変更をしました。

そのシステムの運用が7月1日より開始されますが、今までの申請書と承認書等の様式が変更になります。

今回は新しい様式の変更に伴う改正と、運用実態に沿った内容に規則改正をするものです。

《各委員意見・質問なし》

【採 決】本件は、全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第4 議案第9号

羽曳野市立青少年児童センター運営委員会委員の選任について

- 青少年児童センター館長より、資料に基づき、羽曳野市立青少年児童センター運営委員会委員の選任について説明があり、承認を求めました。

《青少年児童センター館長》

委員については、児童福祉関係者及び学識経験者等で総勢3名です。

現在、青少年センターと児童センターの機能を併せ持つ市内唯一の公立青少年児童センターであり、設置場所の関係から、はびきの埴生学園校区を中心とした運営を行っています。利用児童生徒は羽曳野市全域にわたっています。以上のことから、校区内の児童福祉関係者、地域精通者、学校関係者の方々の承認を得るものです。

《各委員意見・質問なし》

【採 決】本件は、全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第5 議案第10号

令和4年度使用中学校教科用図書（歴史的分野）の採択について

- 学校教育課長より、資料に基づき、令和4年度使用中学校教科用図書（歴史的分野）の採択について説明があり、採択替えを行うか否か判断を求めました。

《学校教育課長》

令和4年度使用中学校教科用図書（歴史的分野）の採択について説明いたします。中学校の教科書は昨年7月に全種目の採択替えを行い、今年4月より、新しい教科書で4年間の使用が始まっています。しかし、昨年度の採択替えの後、自由社の歴史教科書が検定を経て新たに発行され、今年度、歴史的分野のみが採択替えを行うことが可能となったため、その対応が必要となっております。本日は、大阪府が自由社歴史教科書を調査研究して6月に作成した選定資料と、昨年度、羽曳野市において調査研究した資料をもとに、採択替えを行うか否かを決定していただきたいと思っております。

なお、採択替えを行う場合は、調査員会及び選定委員会を立ち上げて、調査研究を実施のうえ採択を行い、新たな指導書の購入と教員による教材研究等の再準備が必要となります。

では、資料に沿いまして、説明を続けます。

まずは大阪府より示されている「採択の基本事項」を添付しております。この「基本事項」が採択事務の根拠となりますので、これを基に採択を行うこととなります。

「1 市町村教育委員会における採択の基準について」をご覧ください。

まず（1）の小学校用教科書の採択についてです。今年度使用の教科書と同一のものを採択しなければなりません。実際には、例年どおり7月の会議におきまして採択を行っていただく予定です。

続いて（2）が中学校です。中学校も同様、今年度使用の教科書と同一のものを採択しなければなりません。ただし、社会科歴史分野のみ、本年度自由社の「新しい歴史教科書」が新たに発行されることとなったことから、採択替えを行うことも可能と記されています。

その際、イに示されているとおり、採択替えを行うか否かは採択権者の判断によるべきものとなります。その判断の際には、大阪府作成の「選定資料」や、昨年度における本市の採択理由や検討の経緯及び内容等を踏まえて判断することも考えられることとされています。

では、「令和3年度使用教科用図書」の一覧表をご覧ください。

下の表が中学校です。社会科歴史分野では、今年度より4年間、東京書籍の教科書で生徒は学習をすすめております。

次からの資料は、昨年採択した際の答申資料、及び調査研究した選定資料となっております。これらに基づき採択をしていただきました。

最後の資料が、今年度、大阪府が「自由社教科書」について調査研究した結果を追加して作成した選定資料になります。

つきましては、採択替えを行うか否か、ご判断をいただきますようお願いいたします。

《多田委員》

自由社が、前回の選定のときに出せなかった理由は何かあったのでしょうか。

《学校教育室長》

教科書検定において、規定の割合を超える検定意見がつき、不合格になったためです。

《多田委員》

前回の選定時に、選定委員会の答申を受けて検討した上で「東京書籍」を採択していますので、改めて採択替えをしなくてもいいのではないかと思います。

《古山委員》

自由社と採択された東京書籍との違いはどのようなところなのでしょうか。

《学校教育課長》

大阪府の資料を見ますと、自由社の特筆すべき内容としては、歴 11 ページにある自由社の 3 つ目「巻末の「歴史を学んで」では、歴史の学習を振り返り、話し合う活動等を通して、学習課題に対して、自分の考えを持つことができるようにしている」ことや、歴 25 ページにある自由社の下の 2 行、「もっと知りたい」などのコラムでは、先人の取組み等を紹介し、郷土を愛する心情を養うよう取り扱われているのが特徴です。

また、昨年度採択された「東京書籍」は、歴史の学習を通して SDG s やエネルギー、防災・安全など多面的に現代の諸課題を見るような構成になっています。そのあたりが自由社との違いです。

【採 決】 本件は、全委員一致により採択替えを行わないことに決定しました。

日程第 6 議案第 11 号

後援名義の使用許可について

●(株)朝日新聞社 近畿圏第 1 部

保護者向け講演会「ぐんと差がつく！夏休みの過ごし方」

教育総務課長より資料に基づき、事業の主催者、事業名、開催の趣旨等について説明がありました。

《教育総務課長》

新規申請事業につきまして、事業日は、令和 3 年 7 月 16 日(金)、11 時から 12 時 30 分まで、オンラインによる開催になります。

対象は、未就学児及び小学生、申し込み多数の場合は抽選の上 900 名です。将来受験するお子さんにとって大切な時期である夏休みの乗り切り方を、東京大学理科Ⅲ類に 3 男 1 女を合格させた独自の教育方法で脚光を浴びる佐藤亮子さんが、オンラインで講演し、アドバイスを行う企画内容となっております。

ます。当該事業につきましては、新規事業ですが、主催者である「朝日新聞社」は作文とスクラップの親子体験型イベント、事業名「朝日新聞 EduA 新聞活用講座」において、令和2年12月期の教育委員会議に上程の上、許可を得ている実績があること、近隣市である松原市、藤井寺市、大阪狭山市、高石市において、許可の実績があることを踏まえ、審査の上、後援許可を交付しても問題のない事業と判断しております。

《古山委員》

講演する方の考え方について、羽曳野市の教育委員会が後援するという実績になってしまいますので、しっかり審議した方がいいのではないかと思います。

《多田委員》

後援名義という考え方をしたときに、それが子どもたちのためになるのかどうかということが大前提だとするならば、テーマについても、オンラインでするという実施方法についても、問題ないのではないかと思います。

どういう講演をされるかというのは分かりませんが、よっぽど教育に反するようなことをすることはないと思いますし、主催者を鑑みても問題ないかと思います。

《新熊委員》

賛成される保護者もいらっしゃると思いますし、ひとつの選択肢として、こういう講演会があるというのはいいと思います。

《奥野委員》

古山委員のおっしゃることも分かりますが。

《教育長》

後援名義については色々な考え方があると思うんですが、今までの流れから言えば、許可しても問題ないのかなと思います。

《古山委員》

ネガティブなメッセージを受け取ってしまう可能性があるなら後援名義をしなくてもいいのかなと思います。

【採 決】 本件は、賛成多数により原案どおりに可決することに決定しました。

- 教育総務課長より教育長において専決した継続分の後援名義の使用許可について説明と報告がありました。

《教育総務課長》

前回の教育委員会議以降に専決処分を行ったもの、専決日、令和3年5月18日、団体名は「大阪学童保育連絡協議会」、事業名は「第52回 大阪学童保育研究集会」、後援名義使用許可実績のある団体、事業です。

《各委員意見・質問なし》

日程第7 議案第12号

羽曳野市教育委員会事務局の指導主事等の給料に関する規則の
制定について

- 教育総務課長より、資料に基づき、羽曳野市教育委員会事務局の指導主事等の給料に関する規則の制定について説明があり、承認を求めました。

《教育総務課長》

令和3年6月4日開催の羽曳野市議会第2回定例会第1日目において、「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」議案として上程させていただき、即日議決の上、6月8日付で公布及び施行されました。指導主事等の給与については、府での給与月額を当市の給料表に当てはめたときの直近上位に格付けていますが、月額のみでの比較により大阪府での手当額の違いや、市での最高号給を超えてしまう場合等の理由で、年収ベースで下回ってしまう場合があるため、給料・地域手当・期末勤勉手当・管理職手当などを含む大阪府での年収見込み額を確保できる給料月額に格付けることができるよう、本市に採用される前に受けていた給与と本市の給与との均衡を図る目的で、条例の一部を改正させていただきました。

今回上程させていただきます「羽曳野市教育委員会事務局の指導主事等の給料に関する規則」の制定につきましては、指導主事等に係る給料の決定に関し必要な事項についてその内容を具体的に定めたものです。施行期日につきましては公布の日から施行し、令和3年4月1日に遡及し適用するとしております。

《各委員意見・質問なし》

【採 決】本件は、全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第8 報告第4号

史跡古市古墳群の追加指定について

- 文化財課長より、資料に基づき、史跡古市古墳群の追加指定について説明と報

告がありました。

《文化財課長》

国の文化審議会は、6月18日に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、羽曳野市内の史跡の追加指定2件について、文部科学大臣に答申されました。今後、告示をもって古市古墳群の追加指定が確定されます。新たに追加指定されるのは、史跡古市古墳群の墓山古墳と応神天皇陵古墳外濠外堤において、条件の整った部分となります。

指定場所及び古墳の概要は、別紙のとおりです。

古市古墳群では22基の古墳が史跡指定されています。羽曳野市内では4基の古墳が史跡となっています。新たに追加される墓山古墳は復元される周堤南側の一部です。また、応神天皇陵古墳外濠外堤は、史跡東山古墳との隣接地であり、ふたつの古墳の位置関係や史跡の連続性を確保するためにも不可欠な場所です。いずれも、今後は公有化を図った上で解説板などを設置して、活用を図ってまいります。

《各委員意見・質問なし》

日程第9 報告第5号

令和3年度羽曳野市一般会計補正予算（第5号）（教育委員会関係）
（案）について

- 学校教育室理事より、資料に基づき、令和3年度羽曳野市一般会計補正予算（第5号）（教育委員会関係）（案）について説明と報告がありました。

《学校教育室理事》【食育・給食課】

第2給食センターのフライヤー（揚げ物機）の更新費としまして、備品購入費13,024千円を予算要求し、補正予算として、現在開会中の市議会6月定例会最終日に上程するものです。

当該フライヤーは、平成8年8月に購入したもので、5月19日に着火不良が発生、バーナー部分の交換修繕を実施し使用可能となりましたが、機器修繕の際、油槽の歪みと、もう1本のバーナーにもひび割れを確認。オーバーホールしても、購入に近い金額が見込まれるうえ、本体自体の耐用年数経過により、オーバーホールしても、あと4年間使用に耐えられる見込みもない、とのことで、更新すべきと判断したものです。

《古山委員》

4年間使用に耐えられないという「4年間」とは。

《学校教育室理事》

新センターが完成するまでの期間です。

《多田委員》

それを4年後はどのような形にするんですか。

《学校教育室理事》

業者に確認しますと、中古での販売等は基本的にはできないということなので、そのまま新センターへもっていくことはできないということです。なので、より早くやるべきだというふうに思っております。

《多田委員》

4年しか使わないということが分かっているというのもまた微妙ですね。修理では無理ということですね。

《学校教育室理事》

本体自体がオーバーホールに耐えられないという判断です。そのままでは給食が提供できないだけではなく、調理員さんへの危険もありますので。

日程第10 その他

- (1) スポーツ振興課長より、市民プール整備工事（市立中央スポーツ公園内）について説明がありました。
- (2) 事務局より、今後の日程について連絡がありました。

教育長より次回の7月定例教育委員会議を、7月20日（金）に予定することを通知しました。

[教育長 閉会の挨拶]

閉会：午前11時35分